

授業科目 感染看護学特論Ⅱ (微生物と生体防御機構)	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 前期開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> ・不可 「下記6, 7. 参照」
科目責任者	新改 法子		
担当者	新改 法子、福井 幸子、大西 基喜、山本 剛 (非常勤)、土井 朝子 (非常勤)、 伊吹 謙太郎 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標 <ねらい> 感染防止や感染症の治療の基礎となる病原微生物や感染防御機構としての免疫について基礎的知識を身につける。 <目標> 1) 微生物の種類と生物学的特徴について説明できる。 2) 主な病原微生物及び医療関連感染で問題となる微生物の特徴について説明できる。 3) 感染の成立機序について説明できる。 4) 感染に関する生体の防御機構について説明できる。 5) 上記1)～4)の基礎的知識を踏まえて看護活動への活用について討論できる。			
2. 授業計画・内容 1-2回 : 微生物学総論 (大西) 主な病原微生物の特徴 ・自然界における微生物の生態 ・微生物の種類と特徴 (真核生物・原核生物、細菌、ウイルス、プリオン、真菌、原虫) ・感染症法による1類から5類・新感染症・指定感染症の類型で見た特徴 3-4回 : 医療関連感染で問題となる主たる細菌の特徴 (山本) ・形態 (グラム染色) と構造・機能、常在細菌叢 ・増殖と変異 (プラスミド)、病原性 (定着・侵入、エンドトキシン、バイオフィーム形成) ・黄色ブドウ球菌、コアグラゼ陰性ブドウ球菌、結核菌、 クロストリジオイデス・ディフィシル菌、 5回 : 多剤耐性菌 (土井) ・耐性機序、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、 ・多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、多剤耐性アシネトバクター (MDRA)、カルバペネム腸内細菌科細菌 (CRE)、ESBL 産生菌等 6-7回 : 医療関連感染で問題となる主たるウイルスの特徴 (伊吹) ・ウイルスの形態・構造 (カプシド、エンベロープ、ゲノムの性状) ・増殖と変異 ・ヘルペスウイルス科 (単純ヘルペス、水痘・帯状疱疹ウイルス)、コロナウイルス科、 インフルエンザウイルス、肝炎ウイルス、麻疹ウイルス、ノロウイルス、アデノウイルス等 8回 : 医療関連感染で問題となる真菌、寄生虫 (土井) ・アスペルギルス、ヒゼンダニ等 9-10回 : 感染成立の要因 (新改) ・感染の様式 (急性・慢性、持続・潜伏・回帰) ・感染の3要素 : 感染源 (病原微生物のビルレンス)、感受性宿主 (コンプロマイズトホス)			

<p>ト、日和見感染)、感染経路 (接触・飛沫・空気、内因・外因、垂直・水平)</p> <p>・デバイス・処置関連感染症：カテーテル関連の血流感染・尿路感染、人工呼吸器関連肺炎、手術部位感染</p> <p>11-12 回：感染に関する生体の防御機構 (大西)</p> <p>・免疫の基本的な仕組み (自然免疫系、獲得免疫系)</p> <p>・ワクチンの作用機序と種類 (弱毒生、不活化、成分、トキソイド)</p> <p>13-15 回：病原微生物の特徴と生体の防御機構から考察した感染制御のための看護活動 (新改、福井)</p> <p>感染症を一つ取り上げて、感染成立の要素に病原微生物の特徴と、生体の防御機構に患者の状態を当てはめ、予防に必要な看護活動の根拠についてまとめる。</p>
<p>3. 教科書、参考書</p> <p>教科書：指定はない。</p> <p>参考書：</p> <p>1) 矢野久子，他編：ナーシンググラフィカ疾病の成り立ちと回復の促進③ 臨床微生物・医動物，5 版，南江堂，2024. ISBN:978-4-8404-8156-4</p> <p>2) 中野隆史編：看護学テキスト NICE 微生物・感染症学，南江堂，2020. ISBN:978-4-524-23798-2</p> <p>3) 岡田忍，他編：微生物学・感染看護学 微生物から感染防止を考える，第 2 版，医歯薬出版，2021. ISBN:978-4-263-23754-0</p>
<p>4. 成績評価方法</p> <p>講義の取り組み状況 40%、プレゼンテーション・質疑応答の内容 60%で総合的に評価する。</p>
<p>5. 受講要件</p> <p>感染看護専門看護師コースの学生は必修</p>
<p>6. 社会人学生に対する配慮</p> <p>オンライン授業等は相談があれば個別に対応する。</p>
<p>7. その他</p> <p>課題については文献検討を行い、プレゼンテーション資料を作成して臨んでください。</p> <p>本科目は、一部オンライン講義を含みますが、基本的に対面による授業とします。</p> <p>やむを得ない理由による欠席等でオンデマンドを希望する場合は事前に教員に相談してください。</p> <p>視聴を許可した場合は、授業の概要および発問への意見をレポートにまとめて、指定した期限内に提出していただきます。授業担当者または科目担当者が学習目標に沿って評価し、目標達成が認められた場合に出席とみなします。</p>